

浦安市の子ども達が安全で
安心な放課後を過ごすために

「放課後うらっこクラブの運営」

健康こども部青少年課

新・放課後子ども総合プラン

背景・課題

◎旧プランにおける「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室（放課後異年齢）」の両事業の実績は、大きく伸びているが、近年の女性の就業率の上昇などにより、共働き家庭の児童の増加が見込まれている。

◎小学校内で両事業を行う「一体型」の実施については、増加傾向にあるが当初の目標値を達成できていない。

◎両事業を「小学校内」ではなく、社会教育施設や児童館等を利用し、多様な体験・活動を実施している例もみられている。

新・放課後子ども総合プラン

…この様なことから…

引き続き共働き家庭などの「小1の壁」や「待機児童」を解消するとともにすべての児童が放課後を安全で安心して過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の両事業の計画的な整備を進める。

新放課後子ども総合プラン

～新放課後子ども総合プランに掲げる目標～

◎放課後児童クラブについて2021年度までに約25万人分を整備し、待機児童解消を目指し、その後も女性就業率の上昇を踏まえ、2023年度までに計30万人分の受け皿を整備する。

◎すべての小学校で、**両事業を一体的に又は連携して**実施し、うち小学校区内で一体型として1万か所以上で実施することを目指す。

◎両事業を新たに整備する場合には、学校施設を徹底的に活用することとし、新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施することを目指す。

◎子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る**放課後児童クラブの役割を徹底し**、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図る。

浦安市では

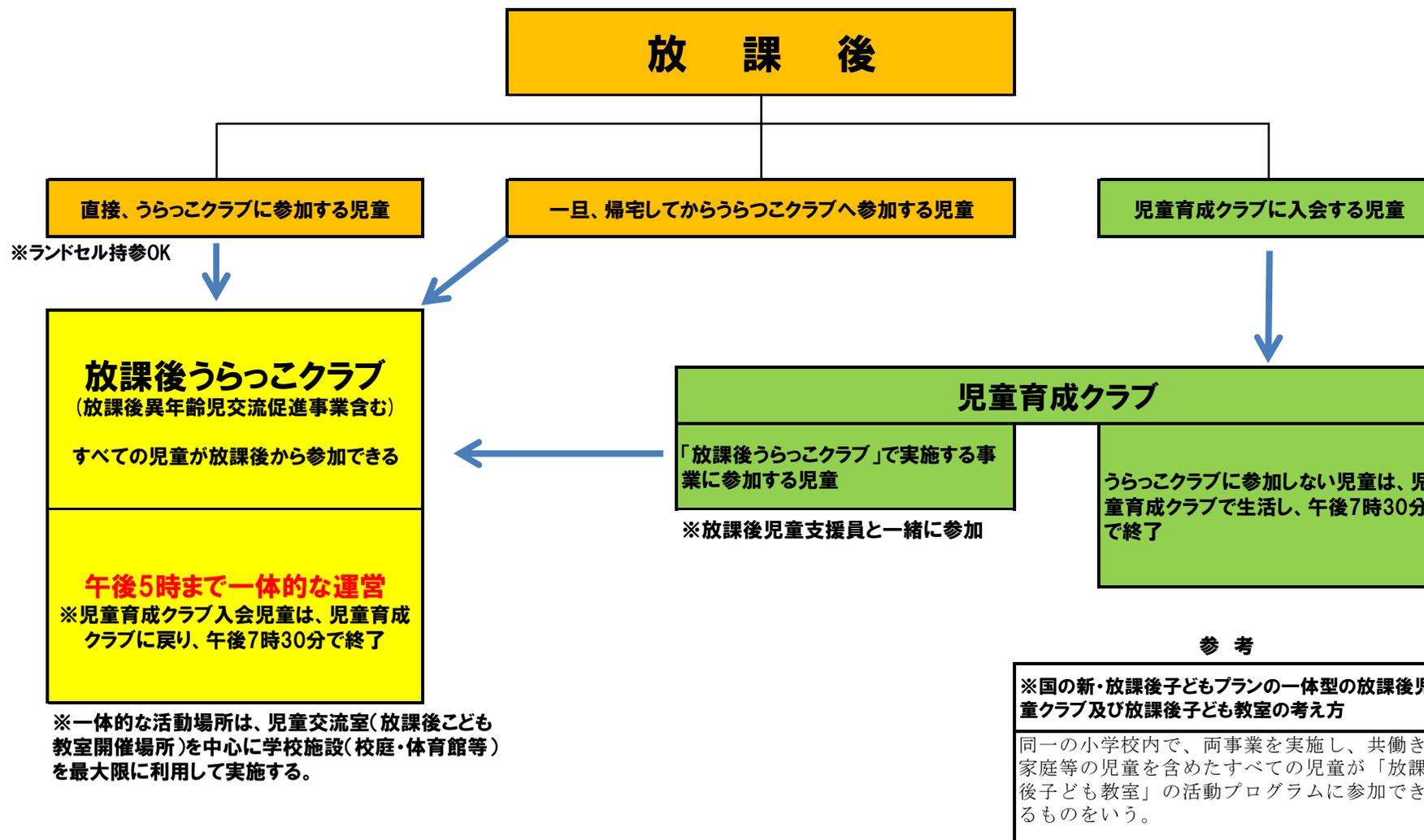
「新・放課後子ども総合プラン」で2019年から2023年の5か年で掲げる目標に対し、すでに「**児童育成クラブ**」と「**放課後異年齢児交流促進事業**」の両事業の一体的運営を「**放課後うらっこクラブ**」として平成31年度(2019年)中に実施することとなっている。

放課後うらっこクラブとは

同じ小学校に通学する(共働き家庭等の児童を含めた)すべての児童に対して、「児童育成クラブ」と「放課後異年齢児交流促進事業」の両事業の特色を生かしつつ、放課後に一緒に遊びなどの活動が行えるよう、両事業を一体的に運営する事業です。

※事業の方向性は、「新放課後子ども総合プラン」と同様

放課後うらっこクラブイメージ



「放課後うらっこクラブ」モデル事業の実施

「児童育成クラブ」と「放課後異年齢児交流促進事業」の両事業の一体的な運営（放課後うらっこクラブ）を平成31年度（2019年）中に実施するにあたり、平成30年度に「東小学校」と「明海小学校」でモデル事業を実施いたしました。

- ・「東小学校」は、平成30年7月1日から8月31日まで
- ・「明海小学校」は、平成30年4月から現在も実施中

～モデル事業での活動内容～

- ・「児童育成クラブ」と「放課後異年齢児交流促進事業」の一体的な活動
- ・放課後異年齢児交流促進事業における「ランドセル来所」や「昼食場所の提供」

「放課後うらっこクラブ」モデル事業の結果

アンケートについては、平成31年度から実施する放課後うらっこクラブとしての運営の参考とするため、「交流活動」「ランドセル来所」「昼食スペースの利用」の3つの項目で実施しました。

保護者からは「学童に入っていない子供と遊べるのは良い」「ランドセル来所をこの先ずっとやってほしい」など今後の放課後うらっこクラブの運営に向けた良い意見をいただくことができました。

児童からは、交流に参加して「楽しかった」との多くの回答がありました。

アンケートの結果といたしましては、「ランドセル来所」「昼食スペースの利用」ができる旨の周知を行い実施したところですが、「知らなかった」などの理由により、利用者が思ったより少なかったように思われます。しかし、今後利用したいかとの項目では「利用していきたい」との回答が6割以上もありました。

「放課後うらっこクラブ」の運営

児童育成クラブ(学童クラブ)と放課後異年齢児交流促進事業(放課後こども教室)の一体的運営については、国が掲げる「新・放課後子ども総合プラン」でも5か年計画で整備計画を推奨し、また、本年度、実施した一体的運営に伴う「モデル事業」でも利用者から高評価を受けました。

「浦安市の子ども達が安全で安心な放課後」が過ごせるよう、平成31年度夏ごろから実施する「放課後うらっこクラブ」について今後も利用者アンケートの実施や国の動向、近隣市の状況を把握しながら運営していきたいと考えています。